



## 八王子国際フレンドからのメッセージ



韓国

留学生 朴 政泰(パク ジョンテ)

平成17年7月

### - 日本でのエピソード



皆さんこんにちは。梅雨をはさんで蒸し暑い日が続いてますね。韓国とは違って湿気が多い日本の夏は、サウナを連想させる暑さで息苦しくなるぐらいです。皆さんには大げさに聞こえるかもしれませんが。

左側の写真は去年の大晦日に八王子のある公園で撮ったものです。季節はずれの写真ですが、暑い日が続く中、真っ白の雪を見ながら少しでも涼しい気持ちを感じてもらえればいいかなと思いついて、あえて冬の写真を載せてみました。

今日は先月に続き、僕が日本で経験したエピソードを中心に話していきたいと思います。今から7年前のものですが「韓・日・中3カ国国民意識比較」という世論調査の結果を見たことがあります。この調査の中で面白いなあと思った結果がありました。韓・日・中3カ国の国民の中でどちらの国民が礼儀正しいと思いますかという項目に対し、調査対象の日本人はもとより韓国人も中国人も、日本人が一番礼儀正しいと思うと答えたのです。この調査結果で分かるように大勢の韓国人は、日本人は礼儀正しくて親切だというイメージを持っていると思います。僕もそうでした。日本に来る前まで日本人に会ったこともないのに、日本人はみんな礼儀正しくて優しいだろうとい

う印象を持っていました。それほど日本人の礼儀正しさは世界に知られていると思います。

話が少し変わりますが、これから僕が日本に来て間もないころ経験した出来事について話してみたいと思います。夕食の準備のために買い物に出かけた時のことです。商店街で買い物を終え、家に帰る途中でした。美味しそうな匂いに引かれ、たどり着いたところには、焼き鳥の屋台がありました。それが焼き鳥だというのは後に分かったんですが、その当時はそれが何か知らないまま美味しそうな匂いで、とにかく食べてみようと思いました。片言の日本語で屋台のおじさんに「それ一本ください」と言いました。その後かえって来たおじさんの言葉で僕はその場で凍りついてしまいました。「なに！一本だけ！」。怖そうな顔で僕を振り向きながら言ったその言葉で、一瞬何が起こったか分からなくなりました。『えっ、この人日本人？嘘だろう。日本人にもこんな人いるの。もしかして外国人...』というようなことが頭をよぎりながらパニックを起こしてしまい、自分に起こったことについて理解しようと必死でした。高圧的な口調で塩とタレどちらにしたいかと聞くおじさんの言葉に適当に答えて、渡してもらった一本の焼き鳥を手握って家に帰ってくる間、「日本も人間が住んでいるところなんだ」とつぶやきました。時には怒ったり喧嘩したり、また人を憎んだり恨んだりしながら、時には笑ったり人を励ましたりする普通の人間社会だなあと感じたのです。この話が皆さんには少々おかしく聞こえるかもしれませんが、先ほど話したように韓国から見た日本人はみんな礼儀正しいだろうという印象が強かったため、僕は日本を思う際にある種の完璧な社会をイメージしたかもしれません。日本には、怒らない人や、激しい言葉は使わない人が住んでいると思っていたのです。今は焼き鳥事件(?)のことを思い出して、一人で笑ったりします。

その頃からだと思います。韓国人とは何か、日本人とは何かについて考え始めたのは。冒頭に紹介した世論調査には、次のようなものもありました。「東アジア3国の中で、信頼できない国は」という項目に対して、韓国人は日本と答えた人が、日本人は韓国だと答えた人が多かったです。日本に対するそのような印象は僕も例外ではありませんでした。しかし、焼き鳥事件の頃から、両国民が自分たちの頭の中で勝手に相手のイメージを描いている間、本質とは関係なく「印象」だけが一人歩きしているのではないかという問題意識を持ち始めました。日韓両国が信頼できる関係にまで至っていないのは今なお変わってないと思います。日本人は礼儀正しいと思うが信頼はでき

ない、韓国の芸能界には興味があるが信頼することは別だ。矛盾するようにも捉えられるこんなことがなぜ起きているのでしょうか。僕にとってこれからも問い続けねばならない課題の一つですね。

それはそうと、余談ですが僕の好物の一つが焼き鳥です。特に炭火焼き鳥が好きですね。幸いなことに、先ほどのおじさんがトラウマになって焼き鳥が食べられなくなることはありませんでした。ただ、日本での勉強を終えて国に戻ってから焼き鳥を食べられなくなったらどうしようと思ったりします。今は韓国にも日本の色々な食べ物が入ってますから焼き鳥も探せばあると思いますが。

では皆さん、来月はより充実した内容でお会いしたいと思います。さよなら。